



平成25年1～2月に、県内農地98地点の土壌(表層15cm)を採取して、NaI(TI)シンチレーションによる調査を行った結果、県内農地土壌の放射性セシウム濃度は32～487Bq/kgであり、7割以上は100Bq/kg未満でした。平成26年度の放射性セシウム濃度は、前年度に比べて約2割減少し、調査地点の約8割が100Bq/kg以下でした(図2)。その後も、調査年度の経過とともに、放射性セシウムの濃度は減少する傾向にありました。

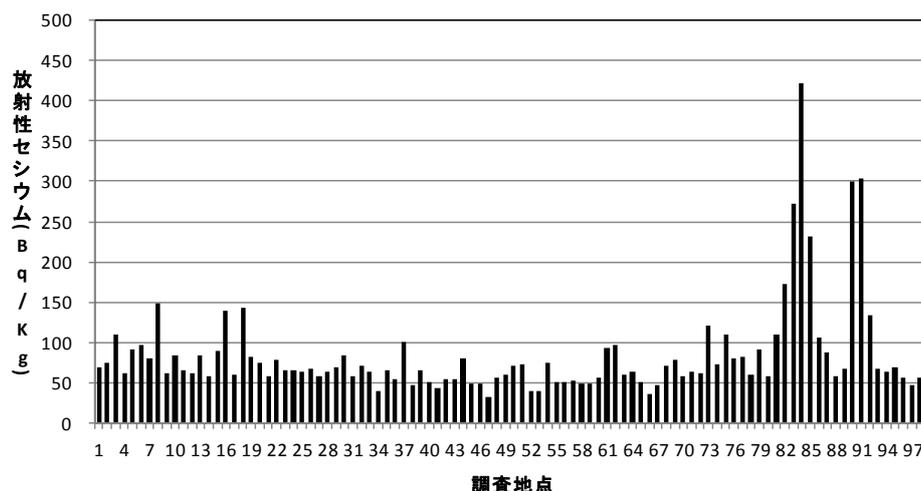


図2 土壌の放射性セシウム濃度 (Bq/kg) (平成26年度)  
注) 横軸の数値は調査地点を示す。

### 3 農作物における放射性セシウム濃度

県産農作物の安全性を検討するため、県内土壌で放射性セシウム濃度が高い地域を想定し、300～600Bq/kg相当の混合土壌を作成して、水稻、コマツナ、ホウレンソウを栽培しました。その結果、放射性セシウムの濃度はいずれも検出限界値(放射性セシウム4Bq/kg)未満で、農作物の安全性が確かめられました(表1)。

表1 農作物における放射性セシウム濃度

試験区	放射能濃度(Bq/kg)	検出限界(Bq/kg)
	$^{134}\text{Cs} + ^{137}\text{Cs}$	$^{134}\text{Cs} + ^{137}\text{Cs}$
水稻玄米	検出せず	4
コマツナ	検出せず	4
ホウレンソウ	検出せず	4

#### 【問い合わせ先】

農業技術研究センター生産環境・安全管理研究担当

電話：048-536-0311 (代表) FAX：048-536-0315

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0909/index.html>